

# 市民サロン

このページは市民の皆さんが作るページです。短歌、俳句、川柳などの文芸作品やどんなことでも結構ですので皆さんのご意見をお気軽にお寄せください。締め切りは毎月10日です。あて先は南国市企画課市民サロン係（〒783 南国市大塚甲2301）です。

## 黒い手のマリオネット 岩本タケオ (金地)



## 「青年の翼」



森本倫世さん(大塚)

次代を担う青年を海外に派遣し、視野を広げてもらおうと興が行っている「青年の翼」。今年、南国市からは三人の方が参加し、五月下旬から二週間ほど、デンマーク、スイス、ドイツなどで、医療、福祉、自然を生かした地域づくりについて学んできました。

青年の翼は、高知県在住の若者を対象にした、二年に一度の事業です。今回は北欧の福祉先進国と自然保護で実績をあげているスイス、ドイツへの海外派遣が話題を呼びました。

ところで、私は大学で社会福祉を専攻しましたが、何かを知りたい、取り入れたいとするときは現場に赴くのが一番近道だと学びました。

旅行者向けの華やかなパンフレットと異なり、北欧の街は一見してとても地味でした。ところが、よく注意するとずいぶん工夫が凝っています。何と言っても、街中の車椅子の多さと障害者トイレの広さ



には目を見張らずにいられません。弱者をどう扱うか、鋭く問われているような気分でした。

日本の社会福祉は、今や許したなしの現状をむかえまじつた。私は高知県が全国に一つのサンプルを示せるように思っています。この青年の翼で見聞したことを軸にして、と

## 未来にはばたけ



んな人にも住みやすい地域を実現したい。大きな夢を持って、福祉を見つめていきます。高橋裕三子さん(岡豊町)

私は高知医科大学に勤務し、八年になる看護師です。今回の青年の翼は、医療や福祉に重点をおいた視察になると知り、参加させていただきました。



福祉のシステムを学ぶという事は、同時にその国の歴史や価値観、宗教、経済などの要素が深く関わりあっていることに注目しなければならぬと思います。特に経済は重要です。デンマークは七割という高い税により、高福祉を実現させています。自分たちの人生や幸福、老後や健康問題についていかに考え、取り組んでいるかが政治に反映された結果だと思えます。いくら優れた福祉政策をとっていても、簡単に真似できないというのが率直な感想です。

もう一つ、行政局の方との話で痛感したことは、福祉や医療分野の連携の良さです。効率の良い仕事は、経済的にも無駄を省き、住民の生活の向上につながると思えました。

隅田朝子さん(下野田)



地球は、人間のためだけのものではない。人間と他の生物が共存できる世の中に、私たち大人がしていかなければならぬと感じました。

見るもの、聞くもの、すべてが新鮮だった。四カ国を訪問したが、北欧の自然に対する考え方には、驚くものがあった。

スイスでは、チューリッヒ工科大学のキャンパスを見学した。構内は、市民たちの憩いの場となっている。開放された敷地である、日本にこれほどまでに開かれてはいないのではないだろうか。私たちが訪れた日は、休日だったが、まるで公園のような構内を多くの市民が散策していた。

そして、街中を流れる小川は水鳥や魚がいて、街中とは思えない自然に近い状態だった。以前は汚い川だったが、人工的に石を置いたり、草を植えたり、流れを計算して造ったのだ。周囲は日本の川のようにすべてセメントで固められている。しかし、水鳥や魚が住んでいる。日本と全く違うのである。

## これはなんでしょう



## 思い出がいつない

答えについての思い出などもお持ちしています。

■しめきり 8月10日

■あて先 〒783 南国市大塚甲二二〇一 南国市企画課 親子クイズ係

■賞品 正解者の中から抽選で5人に図書券を進呈

◎第55回親子クイズの答えは、スイカでした。

第55回当選者発表(敬称略)

島内隆明 (立田)

尾木恵美 (岡豊町)

田辺雅奈 (大塚)

小松三穂子 (比江)

田島まさの (藤ヶ丘)

◆思い出がいつない  
◆そういえば、最近「黄色のスイカ」を食べました。けどやっぱり、「赤色」の方がおいしいですね。

◆稲刈りの季節がやってきました。毎年、このころになるとおやつに食べたスイカを思い出します。田んぼの中でみんな食べたスイカのおいしかったこと。家に帰って食べたスイカ、同じスイカなのにずいぶん違った味でした。

◆スイカの中をくり抜いてオバケの顔を作り、中にコウソクを入れて、きもちめし用のものを作りました。でも、子供たちは以外とこれが大好きでしたよ。「よくできちゅう」と言っていて見えました。少々ガツカリしたものです。

◆夏は何と言っても赤く甘いスイカ。一夏に何個食べるやら。食べ盛りの子供が、はや二個目を食べている。

◆母が小さいころの話です。夏、暑い日に学校から帰ってくると、よくおけにぶかぶかとスイカが浮かんでいたそうです。それを見ると「よく喜んでましたね」と言っていました。

◆今年のスイカはいまいちだったので、今年のスイカに期待しています。

## 南国俳壇

街路紫カレシショップの香を曲る 明見 木戸 節  
梅柑を何かが掴む後継祭 物部 山川 邦子  
河骨の黄を点晴に押の庭 前浜 中村 祭生  
菰の杖の打たれて立集 長岡 野島 卓子  
闇に出て唯一より草堂 長岡 川添 晃子  
礎下の苔に浴び行く梅雨の蝶 長岡 黒岩 めぐみ  
自転車が三倍弾む美善帽 比江 公文 政子  
ドラマ見て泣いて音楽録演みにゆく国分 和泉 えい子  
構構こちら向きたる水芭蕉 比江 岡崎 美枝

## 南国柳壇

今日もまた戦いませう病床で 十市 大家 寿恵子  
海鳴りに絶叫母の終戦忌 十市 沢村 鶴一  
こりや皆い云うたばかりに又サラダ田村 川口 岩春  
区政と市政で変わる支村政党 十市 八松 久幸

## 南国歌壇

降りしきる雨の夜陰に放水を 西島 門田 美穂子  
告ぐるサイレン長く尾を引く  
亡き夫の横を一人で涙を織ぐ  
友の輪田は早やも徳の出ず 大塚 田所 志奈  
ふる里の香り広がる宅急便  
優し森林の心身にしむ 浜辺 田 楠富 十字  
幼き日母の懐ひ出紅げけの  
合数の花咲く幾年月も 植野 中上 日出子  
孤独にもなれて一人の青年に 立田 北村 幸江  
春の山菜ならべて楽し